



2023年5月9日

各位

会社名 株式会社 リグア
代表者名 代表取締役社長 川瀬 紀彦
(コード番号：7090 東証グロース)
問合せ先 取締役管理部長 大浦 徹也
(TEL：06-7777-0159)

特別損失の計上、通期業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

当社は、2023年3月期において、特別損失（固定資産の減損損失）を計上いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、2022年11月8日に公表いたしました2023年3月期の通期連結業績予想数値と本日公表の実績値に差異が生じたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上

当社が保有するソフトウェア資産について、ソフトウェア販売によって生じる収益が当初の計画よりも下回っていたことから、将来の収益見込等を勘案し、回収可能性を検討した結果、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき固定資産の減損処理を行い、減損損失356百万円を特別損失として計上することといたしました。

2. 2023年3月期（2022年4月1日～2023年3月31日）連結業績予想数値と実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 2,764	百万円 △461	百万円 △480	百万円 △316	円 銭 △225.76
今回発表実績（B）	2,837	△508	△527	△774	△552.13
増減額（B－A）	72	△46	△47	△457	
増減率（%）	2.6	－	－	－	
（ご参考）前期実績 （2022年3月期）	3,202	158	151	72	51.64

3. 差異が生じた理由

当社グループでは、2022年11月に接骨院ソリューション事業の主力商品である主要機材の入荷の遅れ、ソフトウェア販売促進のための初期費用の値下げ、金融サービス事業の上半期の実績推移等を勘案し、2023年3月期の通期業績予想を下方修正いたしました。

前回発表した通期業績予想に対して、売上高は予想数値を上回ったものの、接骨院ソリューション事業における商品在庫の一部に評価損を計上したこと、金融サービス事業における委託報酬の増加等により、営業利益および経常利益が下回りました。また、上記特別損失により、親会社株主に帰属する当期純利益が下回りました。

以上